

チュートリアル課題 頭が痛い・・・

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30198

2009年度 Block. 5

課 題 No. 3

課題名：頭が痛い・・・・・・・・



※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

課題シート

2009-B5-3

シート1

頭が痛い.....

6月の上旬、40歳男性の勅使河原さんは3日前から咽頭の痛み、鼻閉感があり、会社近くの診療所を受診しました。風邪と診断され、セフェム系の抗菌薬を処方されました。

課題シート

2009-B5-3

シート2

頭が痛い・・・・・・・・

次第に勅使河原さんには頭痛と吐き気も出てきました。前回の診療所を再度受診したところ血液検査、鼻咽頭の培養検査を施行され、マクロライド系の抗生物質を処方されました。しかし勅使河原さんの症状は良くなりません。勅使河原さんは診療所に電話をしました。

医師：「前回の血液検査で白血球数が $19000 / \mu\text{L}$ と高く、炎症のマーカー、CRPも 24.0 mg/dl と高値です。紹介状をお書きします。」

紹介状をもらい、大学病院受診の予約を取ろうとしていたら、頭痛と吐き気が激しくなってきました。家族が救急車を呼び、近くの救急病院に運び込まれました。勅使河原さんは3年前に特発性血小板減少性紫斑病になり、脾臓を摘出されていました。

課題シート

2009-B5-3

シート3

頭が痛い.....

救急病院に着き、救命救急科の医師が診察したところ、勅使河原さんの意識は朦朧としており、脈拍130/分、血圧120/80mmHg、体温40.3℃で、項部硬直を認めました。

課題シート

2009-B5-3

シート4

頭が痛い・・・・・・・・

頭部CTでは異常は認められませんでした。主治医は腰椎穿刺を施行しました。髄液は混濁しており、グラム染色で写真のような菌が認められました。併せて血液培養も2セット採取され、セフトキシム 1 g 1日2回点滴静注が勅使河原さんに投与されました。

課題シート

2009-B5-3

シート5

頭が[※]痛い・・・・・・・・

勅使河原さんの熱は下がりません。主治医は感染症科にコンサルテーションを行いました。髄液と血液から血清型23Fの肺炎球菌が検出されました。主治医は最小発育阻止濃度（MIC）の結果から抗生物質をパニペナム 1 g 1日4回に変更するよう指示されました。その後、解熱し、炎症所見も正常化しました。
その後、主治医は勅使河原さんに、今回の肺炎球菌について説明を行いました。

課題シート

2009-B5-3

シート6

頭が痛い.....

主治医：勅使河原さんは脾臓を取っていますので、肺炎球菌に対する抵抗力が落ちています。今後、肺炎球菌に感染しないようワクチンを打ちましょう。

勅使河原さん：前の病院ではそのような説明はなかったのですが。

主治医：日本ではまだ、ワクチンに対する認識が十分ではありませんし、毛嫌いする方も少なくありませんが、勅使河原さんには肺炎球菌ワクチンが必須です。

勅使河原さんは主治医の説明に納得して肺炎球菌ワクチン接種を受けました。勅使河原さんはその後肺炎球菌感染症にかかることなく、今も元気に仕事を続けています。また、診療所に風邪症状でかかって抗生物質を処方されると、必ず医師に説明を求めるようになりました。